



井岡ボクシングジム 会長

井岡 弘樹さん

元WBCストロー級
元WBA世界ジュニアフライ級 王者

PROFILE

- 1969年:大阪府堺市生まれ
- WBC世界ストロー級初代王者
(日本人史上最年少18歳9か月で世界王座)
- WBA世界ジュニアフライ級王者
(韓国の無敵王者「柳明佑」を下し日本人3人目の2階級制覇達成)
- 引退後、トライアスロンなどに挑戦する一方で、井岡ボクシングジムを開業
現在は1000名を超えるジム生を育成している。

ボクシングは故障との闘い。 柔道整復や鍼灸の先生方 には感謝しています。

ボクシングを引退後、トライアスロンに挑戦したいと思ったのですが、実はカナヅチでしてね(笑)そのとき、僕が泳げるようにコーチして下さったのがトライアスロンの経験をもつ浅田先生で、トレーニング後のマッサージやコンディショニングもおまかせしていました。僕にとって柔道整復や鍼灸は、現役時代から欠かせないものでした。チャンピオンというのはい人であるわけではなく、周囲の支えがあってこそ成しえるものです。とくにボクシングは故障との闘いですから、先生方のケアがなければリングに上がれないことさえあります。日本に浅田先生のような方が増えれば、もっとたくさんのアスリートが活躍できるようになるでしょう。これから東洋医療専門学校で学びみなさんにも心から期待しています。



プロトライアスリート

小原 工さん

PROFILE

- 1967年:鳥取県米子市(日本トライアスロン発祥の地)生まれ
- 全日本トライアスロン若生大会やアジアトライアスロン選手権、日本トライアスロン選手権での優勝など数々の栄光に輝く。
- 2000年、ワールドカップ石垣島大会3位入賞で日本人初の表彰台に。
- 2000年、シドニーオリンピック出場、2008年、北京オリンピックでは帯同コーチを務める。
- 現在、鳥取県トライアスロン協会に所属。
JTUトライアスロンクラブ最優秀選手賞を6年連続(1995~2000)受賞し、ミスタートライアスロンの称号を授与される。



トライアスロンは誰でもチャレンジできる スポーツ。心までケアできるトレーナーの 存在は頼もしいですね。

シドニーオリンピックをめざしてトレーナーをお願いしたのが、浅田先生との出会いでした。先生はご自身がトライアスリートなので、体の動きや「この筋肉が張る」といった話も理解してくださり、安心してまかせられますね。私はJTU(日本トライアスロン連合)よりミスタートライアスロンの称号をいただき、現在は故郷であり日本のトライアスロン発祥の地でもある鳥取県米子市で、トップ選手育成やトライアスロンの普及活動に努めています。今、トライアスロンは誰にでもチャレンジできる健康的なマルチスポーツとして注目されています。施術とともに心までケアできる浅田先生のような方がたくさん誕生することは、スポーツを愛するみんなにとって心強いことですね。



柔道整復師・鍼灸師は、今やスポーツの分野でも不可欠な存在。 活躍フィールドとともに、アナタの可能性もどんどん広がります。



アサダ接骨院・鍼灸院 院長 有限会社 アサダコーポレーション 代表取締役 浅田 雅之先生

担当科目:保健体育

PROFILE

- 1965年:兵庫県明石市生まれ
- 1984年:兵庫県立明石高校 卒業
- 1988年:日本体育大学体育学部体育学科 卒業
- 1988年:日体柔整専門学校夜間部 卒業
- 1989年:カワノ鍼灸整骨院 勤務
- 1990年:関目病院リハビリテーション科 勤務
- 1990年:スポーツ医学研修のため渡米
- 1991年:大阪鍼灸専門学校 森ノ宮医療学園 卒業
- 1992年:アサダ接骨院・鍼灸院 開設
- 1999年:アサダコーポレーション 社長就任

- 1999年:チームテイクアウトトライアスロン競技部 トレーナー契約
- 2001年:NTT西日本バレーボール部 トレーナー契約
- 2004年:東洋医療専門学校 講師
- 2006年:のじきく兵庫国体トライアスロン競技出場
- 2007年:高齢者体力づくり支援士マスター取得

現在、兵庫県トライアスロン協会顧問のほかさまざまなスポーツ関係の資格を持つ(水泳指導管理士、1級小型船舶操縦士、スキーSAJ1級、スキューバダイビングPADI、柔道2段、相撲初段、中学、高校保健体育科教員免許)。各種スポーツのプロトピアママのケアと指導を得意とする。



症状に応じて柔道整復と鍼灸を 組み合わせて、スポーツ愛好家から プロ選手までケアを行っています。

私は院長であると同時に、トライアスロンや柔道、ダイビングなどさまざまなスポーツを楽しむアスリートでもあります。私のところにはスポーツをされている方が数多く通院されているため、自分自身が実際にスポーツを経験することは患者さんの気持ちに立って施術するためにも大切だと思います。また、トップアスリートともなると、症状に応じて「今日はマッサージがいい」「鍼灸をしてほしい」と施術にも自分なりのこだわりを持っていますから、柔道整復と鍼灸を使い分けられるのは強みだといえるでしょう。

将来は、ワールドチャンピオンを 10人送り出し、さらには明石に スポーツリゾートを誕生させたい。

井岡会長、小原選手とはトライアスロンを通じて知り合いました。小原選手のようなトップ選手をサポートするのは非常にやりがいがありますね。井岡会長はご自身のジムに整骨院を併設されているほど、アスリートのケアを大切に考えておられます。これからはスポーツの分野でますます柔道整復師・鍼灸師の活躍が求められ、夢も広がっていきます。私も将来はトライアスロンやボクシングなどの分野でワールドチャンピオンを10人送り出すこと、さらには明石にスポーツをテーマにしたリゾートを作るという夢があります。可能性豊かなこの仕事、ぜひ多くの方にめざしてほしいですね。